

# BAZAAR



## 2014年度バザー報告

恒例のバザーは十一月八日土曜日に行われました。空は曇りで小雨が降っていましたが皆の雰囲気は最高でした。ボランティアの方々が大声で笑ったり、御互いに励ましあいながら一生懸命に働きました。年をとった一世の方々から、まだ小さい四世の人たちが肩を並べて働いているのを見て本当に胸が温かくなりました。少年部は冷たい飲み物、または自家製の品を販売、青年部はTシャツ等を売ったり会場の整理をしていました。片岡キャリーさんの紹介でテタカさんが特別な鍋を持ってこられたお陰で天ぷらを早く揚げる事が出来るようになりました。片岡さん有難うございます。もちろん多数のボランティアならびに寄付してくださる方々いなければバザーの成功は有り得ない事です。本当に皆様に厚くお礼いたします。

トロント仏教会バザー委員会

## ホリデースケジュールのご案内

十二月二十四日(水) 事務所は午後からお休みです

二十五日(木) 事務所はお休みです

二十六日(金) 事務所はお休みです

二十八日(日) 午前十一時 常例法座

三十一日(水) 午前十時 除夜会

午後十一時十五分 除夜の鐘つき

二〇一三年

一月 一日(木) 午前十一時 元旦会

午前十時〜午後四時 初詣

四日(日) 午前十一時 祥月法要(英語)

午後一時 祥月法要(日本語)



## お餅つき&購入申し込み

販売・・・十二月二十八日(日)

午後十二時〜三時半まで

値段・・・小もち(十二個入り) 四ドル

お鏡餅 四ドル五十セント

※佛心英語版十一ページに申込用紙がありますので、  
十二月二十一日(日)までにお寺までお申し込み下さい  
当日は八時半よりお餅つきを始めますので、  
皆さんのお手伝いをよろしくお願いたします

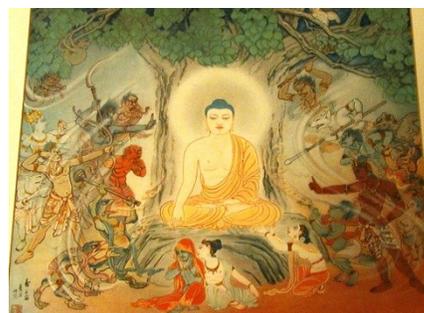


# 成道会

十二月二十一日(日)

午前十一時より

六年にわたる苦行の末に、この方法では悟りにいたるところが出来ないと感じたシツダルサは、スジャータの乳粥の供養を受け入れ、尼連禪河で体を清めた後、悟りを開くまではその場を離れないという強い誓いのもとで菩提樹の木の下で瞑想に入られました。



毎月第1・3日曜はお寺でHAVE A FUN!!

10時半からのキッズサービスに引き続き  
楽しいクラスやアクティビティを通して  
アミダさまのお心を学びましょう

☆クラス予定表☆  
12月21日(日)

1月4日(日)

※ボランティア募集のお願い  
一月一日の元旦会にてボランティアいただける方がおられましたら、お寺の事務所までお知らせ下さい  
主な内容はお茶とお菓子の用意、お参りに来られた方へのお寺の建物の案内などをしていただきます

ご家族ご友人とお誘い合わせてお参り下さい

## 元旦会 (初詣)

一月一日(木) 午前10時～午後4時

- ・新しい年を阿弥陀様の前でお迎えしましょう
- ・一時間ごとに読経とご法話がございます



## 除夜の鐘

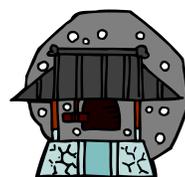
十二月三十一日(水) 午後十一時十五分

- ※オンタリオプレイス内テンプルにて
- ・先着順でお餅を無料配布します
- ・お一人一回ずつ鐘をついていただけます

## 除夜会

十二月三十一日(水) 午前10時

- お寺にて
- ・この一年をおかげさまで無事に過ごさせて  
いただいた事を阿弥陀様にお礼申し上げます



# 年末年始の行事予定

# 第15回世界仏教婦人大会

大会に向けて編んでいたハートが四千以上集まりました。編んでくださった皆様有難うございました。なお、まだご家庭にあるものはお寺に持ってきて下さい。十二月はワークショップはありませぬ。次回のワークショップは一月二十五日のサンデーサービス終了後です。バザーの世界仏教婦人テブルでのリサイクルの宝石販売も大成功でした。有難うございました。

大会の成功のためまだもっと多くのボランティアが必要です。大会中、前、後に助けてくださる方、大会のウェブサイトを

www.wbwconvention.com

のボランティアアプリケーションにて可能な時間と興味のあるエリアを指定の上、お申し込み

## 二〇一五年メンバーシップカード

新しく二〇一五年のために発行されるメンバーシップカードは大変美しくデザインされています。ぜひサンプルをご覧下さい。レギュラーメンバーシップは毎年有効期限が一月一日から一月三十一日です。申し込みは出来るだけ早く年初にご登録下さい。申し込みの後、会費百ドルが納入されますとカードが送付されます。名誉会員カードは会費が無料で七十歳以上のメンバーが対象です。継続の意思のみでカードが送付されます。ご寄付は大歓迎です。全てのメンバーシップがより意義のあるものとなるよう日々改善する所存です。

副会長 ダーリーン・リーガー

## 敬 弔

次の方が御往生されました  
生前のご苦勞を偲び、  
謹んで敬弔の意を表します。

川端 みさお様

八十三歳 十月二十九日往生

中川 フェリス様

八十七歳 十一月七日往生

馬場 ジョージ精一郎様

七十四歳 十一月八日往生

岡田 ちよ様

八十歳 十一月十五日往生

伊豆川

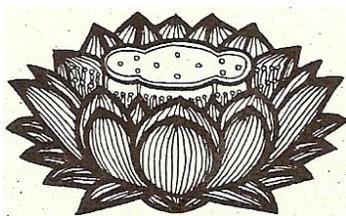
功美子様 八十七歳 十一月二十二日往生

蛭崎 幸次郎様

九十六歳 十一月二十二日往生

宮崎 勝美様

八十九歳 十一月二十七日往生



# 佛心

二〇一四年十二月号  
浄土真宗  
トロント本願寺

## 仏法聞き難し



お世話になったダイリーンの家から自分のアパートに引越した日がありました。すごく居心地良く過ごさせて頂いたのでお寺に近いところに移るのは便利になるだろうと思つた反面すごく寂しい気持ちになりました。ダイリーンはいつでも遊びに来て、犬のセイブルを散歩しに来てねと言ってくれました。引越

しの日、お寺のメンバーの方が朝から寒いのに汗をかきながら重い荷物を運んでくださり大変有難く思いました。この日を心配していた人がもう一人いまして、それは私の母です。母は私の整理整頓が上手なことをよく知っていてこの日をめぐって日本からやって来たのです。私のアパートに近いホテルに滞在を決めてトロントに着いたのですが、日本から来て疲れているので私と簡単な食事をした後別れました。次の日あなたと別れてからこんな事があつたと話してくれました。母は私と別れた後、ミネラルウォーターを買いに外に出たそうです。結構母はうるさい方なのでミネラルウォーターの前でこれにしようか、あれにしようか迷つて、ようやく決めてこれにしようと手を伸ばした途端、後ろから、「それはダメ。」「スプリングウォーターと書いてあるけど詰める時に問題があるから沸騰させた水を買った方が安全よ。」「味は劣るけどね。」という声がありました。振り向くとそこには母よりは年上の女の人がいて、そこから二人の会話が始まったそうです。「あなたはどこから来たの?」

と言われたので「日本から今日来たの。」と答えると、「日本は福島原発のことがあつたから大変ね。まだ解決していないでしょ。」などなど母も拙い英語で話してうちに、二人はすっかり友達気分になつた様です。滞在する期間を母に聞いて、そんなに長いなら環境問題の展示会あるからそこに行つたら良いと勧めたそうです。それはThe whole Life Expoというものでした。そこにあるのはすこ

くいろんなことが正しいことだから是非行つたら良いと教えてくれたそうです。「あなたはどこでカナダに何しに来たの? ビジネス?」と聞かれたので「息子に会いに来たの。」「なんの勉強しているの?」「いいえ、働いているの。」「何のお仕事?」「お寺で仏教のお坊さんをしています」と言つたところ間髪を入れずに「それは良くない。イエスキリストだけが世界を救う一人の人なのよ。」「Heaven is for real」といういい本があるわ。でも普通の店では買わないで。ウォルマートで買えば四十%オフだから。」

と教えてくれたそうです。母は内容はともかくとして彼女の親切心に感謝して別れたそうです。私はその笑話の様な話を聞いて、これは極端な例であるとしても海外で仏教を広める上で仏教のバックグラウンドの無い人達に仏教を広めることの難しさ、いや、以前に仏教に出会わせることすら難しいことなんだと思つました。メンバーの方々はお寺に来て話を聞いてくださり、仏教の理解がある方で、むしろ自分以上に仏教に長く深く接しておられる方が多いです。今回の引越し、カナダに来てからすべてメンバーの方々に本當に助けて頂き、未熟な私が開教使として歩む道を作つて下さつています。

仏教の教えを伝えることが難しくても一人でも多くの方に知って欲しいと思つています。ある日本のお坊さんは、死を目前にして枕経をお願いすると言われて、初めて自分の檀家さんにお会いする例が殆どだと言つていました。死んでいく方は死が分かつてからどんな気持ちで自分の死を迎え入れていたのでしょうか。

母と簡単な食事したと言いましたが、実は雪が散らつきそうな寒い夕だったので、私たちはふと非常に混んでいるラーメン屋の前で足が止まりました。中から日本語の威勢の良い声が響き、店の中は活気に溢れています。各国語が飛び交う中でお箸を使つて美味しそうに皆ラーメンを食べています。日本食が人気があるとは聞いていました。本當だと母と驚きました。「うーん、ここはかなり儲かっているわね。」「うーん、異文化でも体験して本當にいいと知ればこんなに受け入れてもらえるんだ」現在は世界中で環境破壊による危機を感じています。イエスキリスト「人と関わらずにお釈迦様の考えにも触れて欲しいと思つています。」

合掌 駐在開教使 遠藤竜